

バレーボール部 春季リーグ

チーム一丸
での勝利!!

西日本選手権大会はベスト8

西日本選手権大会は、
「今年こそは優勝」と自信を持って臨んだ西日本大
会。シード校として決勝トーナメントから参加。順調
に勝利していたが、愛知大学との一戦で敗れベス
ト8にとどまった。愛知大学は今季東海リーグ、東
海インカレを制した強豪だが、ノーシード校。ベス
ト4に関西勢が入らない波乱含みの大会となった。

昨年春季リーグ戦も優勝を果たした大南大。しかし秋季は4位と低迷した。大量リードからの逆転、波に乗れない試合、選手の間でストレスがたまっていた。結局すっきりしないまま日々の試合をこなしていた秋季リーグ。それは4位という結果にもあらわれた。

しかし今季はリーグ開始早々から何かが違っていた。初戦を昨年1-3と敗れた甲南大に3-0であった勝利すると、立命館大、大体大、大院大と第4戦までを失セツトなしのストレートで勝利していった。その後も勝利を続け、関学大に1敗

したものの予選を1位で通過。決勝リーグも無敗で、通算9勝1敗の成績で春季リーグ優勝を果たした。

中嶋英喜監督が「一戦一戦を自分たちの力を発揮することを目標に戦った。それができた結果の優勝だった」と語ったように、全員が集中して活躍し、なおかつチームが一つと

なることができた。リーグ戦だった。どの試合も打つべき人が打ち盛り上げるべき人が試合を盛り上げ、ゲームを作っていた。その一人ひとりの姿に、昨年から成長した姿を見ることができた。

個人賞

【最優秀選手賞】	越猪 竜之介(商学4年)(鎮西高)
【スパイク賞】	天本 智茂(商学4年)(九州産業大学付属九州産業高)
【セッター賞】	須藤 竜太(公営3年)(岡谷工業高)
【最優秀監督賞】	中嶋 英喜

目指すは
社会人でも
No.1!!

その
とーり

5月15日(土)に開催された第50回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会において、下原玄太(公営8年)(入来商業高・現川薩清修館高)が60kg級で優勝し、念願の全国初タイトルを手に入れた。なお60kg級では文屋紀彰(高4年)(倉敷商業高)が準優勝に入った。

高校生のときに顧問の先生に誘われてウエイトリフティングを始めたという下原。その5年後に見事全国本学生チャンピオンに輝いた。ウエイトリフティング競技は自分との戦い。試合当りまでに一気に減量するなど、精神的な強さが常に要求される。今回も1週間前に4×5kg体重を落とした。「もう慣れちゃいました」と本人はあっさりと言及が、並大抵な努力では実現できなかったことは確か。試合当日の記録は自己ベスト記録よりは劣ったが、3回の試技を全て成功させて優勝をつかんだ。

高校生の選手時代とも合わせて「日本一」は初のタイトルで、「日本一」は嬉しい。迫る立派な立場に変わることで以前よりも刺激と励みを感じて練習できている」と語る下原。次なる目標は、全日本学生ナンバーワンから、全日本ナンバーワンへ。今日も目と闘っている。

6月18日(日)の第25回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会では、山本健晴(経済4年)・小浜水産高)がスナッチおよびクリーン&ジャーク両方で大会新記録を記録し、トータル218kgで、大会新記録での優勝を果たした他、8部門中4部門を大商大の優勝で飾り、合計8名が入賞した。

ウェイトリフティングを知っていますか？

ウエイトリフティングは体重別に階級分けされており同じ階級内で記録を競う競技です。種目は「スナッチ」と「クリーン＆ジャーク」の2つがあり、それぞれ3回ずつの試技を行い、各種目の最高重量の合計（トータル重量）で順位が決まります。3回と回数が決まっているので、何回目にとどのくらいの重量を上げるかというのは、そのときの本人の調子や同じ階級の別の選手の結果などを考慮して随時試技前に決められています。その駆け引きの様子もウエイトリフティング競技の醍醐味です。

■スナッチ

地面に置いた
バーベルを一気に
頭上へ上げ
立ち上がる方法。

■クリーン&ジャーク

地面に置いたバーベルを一旦肩まで引き上げて立ち上がり、その後頭上へ押し上げる方法。

ウェイトリフティング部戦績
「第7回全日本学生選抜ウェイトリフティング選手権大会」
62kg級 **3位** 山本 健晴（経済4年）（小浜水産高）

「第56回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」

56kg級	準優勝	文屋 紀彦 (商4年) (倉敷商業高)
56kg級	失格	丹下 雄介 (商2年) (倉敷商業高)
62kg級	失格	山本 健晴 (経済4年) (小浜水産高)
69kg級	優勝	下原 玄大 (公営3年) (入来商業高)
94kg級	4位	松原 寛佳 (経営4年) (土岐商業高)

「第70回全日本ウェイトリフティング選手権大会」
62kg級 6位 山本 健晴（経済4年）（小浜水産高）

「第25回関西中学生選抜ウエトリフティング選手権大会」

56kg級	優勝	丹下 雄介 (商2年) (倉敷商業高)
62kg級	優勝	山本 健悟 (経済4年) (小浜水産高)
	3位	山根 紀彦 (商3年) (倉敷商業高)
69kg級	優勝	下原 玄大 (公営3年) (入来商業高)
72kg級	2位	下原 卓朗 (公営1年) (川薩清修館高)
85kg級	2位	麻生川 嶺平 (商学4年) (大阪商業大堺校)
94kg級	優勝	須田 真 (商3年) (倉敷商業高)
+105kg級	3位	内野 史 (公営2年) (大阪商業大堺高)

対抗卓球選手権大会」(関西予選)	■フィールドホッケー部
定期戦開催 (関西予選リーグB 1位)	「関西学生ホッケー春季リーグ」3部 5位
	■陸上競技部
「第97回関西学生陸上競技選手権大会」2部	
4×100m	決勝6位 中安 洋介 (経済4年)
(公営4年)	村田 智 (経済4年)
(経済4年)	吉田 隆司 (公営3年)
(経済2年)	林 真吾 (公営2年)
(経済4年)	林 真吾 (公営2年)
(経済4年)	決勝7位 村田 智 (経済4年)
400m	津波剛進出
走幅跳	決勝7位

クラブピックアップ

Pickup-2 陸上部



親しき仲にも
礼儀あり!



メキメキ!!

今年度、陸上部には9名の新入部員が集まり、現在19名でにぎやかに活動しています。経験者が多いですが、初心者もあり、女子部員も5名いて、近年メキメキと実力をつけてきているクラブです!

その陸上部を引っ張るのが主将の景山浩規くん。経済3年(岡山県商業高校)。高校時代は野球部で日々汗を流していました。大学に入学すると陸上部に転身。クラブ活動がない日も走りこみや筋トレなど自主練習も確実にこなす努力家で、800mの記録ものび、決勝に進むくらいになりました。



おなじみの長瀬です。
一緒に汗を流し、
一緒に喜びましょう!



アスレティックトレーナー・鍼灸師 長瀬 亮昌

経験スポーツ/野球

僕の好きな...

「する」スポーツ/野球、スノボ
「見る」スポーツ/ラグビー、サッカー
など何でも
食べ物/チョコレート
テレビ番組/すぽると
筋肉/大胸筋
(体の美しさを感じられるから)
言葉/共感(大事にしている言葉です)

RYOSUKE TIME
水曜日
16:00~19:00

新人の山本です。
ひとりひとりが
目標を達成できるよう
サポートします!



経験スポーツ/陸上(800m)

僕の好きな...

「する」スポーツ/ボウリング
「見る」スポーツ/ラグビー、サッカー
など何でも
食べ物/カレー
テレビ番組/すぽると
筋肉/中殿筋(とっても大事)
言葉/あきらめない!

DAISUKE TIME
金曜日
16:00~19:00

編集後記

こんにちは!

今年の4月からスポーツセンター事務室に配属になった吉田です!久しぶりの大学生、久しぶりのクラブ学生との交わり、初めての大阪商業大学課外活動支援部署での仕事、すべてが新鮮に感じている。商大生と接する部署から離れて約15年間の復讐、学友会・体育会本部・文化会本部の学生、そしてそれぞれのクラブ生、時代の流れであろうか、学生の皆が可愛く見えてしまう。商大も変わったが、私も歳を取り変わってしまったのかもしれない。しかし、スポーツクラブを見ているとあらゆる面で大阪商業大学は不撓不屈の精神が受け継がれている。ガンバレ商大生!

(よ)



発行 大阪商業大学スポーツセンター
編集 大阪商業大学スポーツセンター
印刷 株式会社日本ビジネスアート

すぽせんNEWS

商大スポーツセンターの旬の情報をお届け!

大商大から 2010 FIFA ワールドカップに参戦!!



2006年7月よりサッカー日本代表GK(ゴールキーパー)コーチとして就任している加藤好男さん(1980年商経学部経済学科卒業)がFIFA南アフリカW杯の日本代表メンバーのゴールキーパーに選出され、このたび南アフリカで開催された「2010 FIFAワールドカップ」に参加されました。加藤さんは1976年本郷高校(東京都)から大商大に入学。在学時代は大商大の全国大学選手権大会優勝に貢献。全日本学生代表としても活躍されました。当時はよく知るチームメイトは「ゴールキックが相手ゴールまで届いていた」とその爆発的キック力を称えていました。卒業後は古河電気(現ジェフユナイテッド市原・千葉)に入部。日本サッカーリーグ優勝、アジアクラブ選手権大会の優勝を経験しました。日本全体を熱く熱狂させてくれた今回のW杯。ゴールキーパーの活躍も目立った大会でしたが、陰には様々な苦勞もあったかと思えます。大会裏話をいくつか本学で聞かせていただきたいと思います。本当におつかれさまでした。

全国大会へ壮行会開催

6月4日(金)の昼休み、大学構内にて、「全国大会出場激励壮行会(空手道部・日本拳法部)」が開催されました。これは全国大会へ出場する体育会クラブに対して激励を行い、出場選手の士気の高揚を図るもので、体育会本部による主催で行われました。

体育会本部顧問の大林正憲先生による激励の言葉、体育会本部委員長(空手道部)の激励の言葉の後、出場選手を代表して、



井上主将は「日ごろ対戦できない関東勢との対戦を楽しみにしている」と語り、空手道部の芝田主将は「どこにも負けない練習をしてきた。その成果を見せた」と抱負を語っていました。この壮行会は今後も全国大会出場クラブに対して行われます。

講習を受講すれば誰でも利用できる総合体育館トレーニングルーム。トレーニングはただやみくもに重いものを挙げているのではなく、科学的なトレーニング方法が身につくよう指導されています。

トレーナー紹介

今年度よりトレーナーが1名追加され、トレーニングやテーピング、コンディショニングの指導を行っています。



あきらめないでください!

共感してください!

トレーニングルームを利用しよう!

アスレティックトレーナー 長瀬亮昌 山本大輔

復活論



商大スポでは、闘う大商大生に送るメッセージ、「商大スポーツ復活論」を連載しています。今回も必修です!!(但し出席は取りません)ぜひクラブ活動の参考にしてください。

すぽせん勝手にMVP

第5回



大商大ウエイトリフティング部OB 五百蔵正和さん (2008年卒)

大商大から世界へ!

今回は、全日本2連覇を果たした偉大なOB選手をとりあげます!

5月28日(金)、全日本ウエイトリフティング選手権62kg級で優勝し、昨年に引き続き2連覇を果たした五百蔵正和(いおろし)まさかず選手は大商大を2008年に卒業。大阪市信用金庫に勤めながら競技を続け、本学ウエイトリフティング部の宮下日出海監督の指導をあおぐため大商大で週5日間の練習をこなしています。先日の全日本選手権とするもの。ウエイトリフティング部だけでなく大商大の体育会系のクラブのみならず、大商大のOBとして活躍している選手も少なくありません。「大学のクラブは自ら率先してやる」とするもの。ウエイトリフティング部だけでなく大商大の体育会系のクラブのみならず、大商大のOBとして活躍している選手も少なくありません。「大学のクラブは自ら率先してやる」とするもの。



第70回全日本ウエイトリフティング選手権 第24回鈴枝子ウエイトリフティング選手権

「い」と母校愛を語っていました。クラブ活動をしていない学生に対して「谷岡学長もよくおっしゃっています。大学時代に、自分のためだけでなく、人のために役に立つことを見つけてほしい。様々なことに目標を持ってがんばってください」と語ってくれました。今後の目標はロンドン五輪に出場し、メダルを狙うこと。恩師宮下監督の「俺の成績(オリンピック)4位入賞」を越えてほしい」という言葉を胸に、今日も大商大ウエイトリフティング場で汗を流しています。